

<別紙>

インテリジェンスコネクットの概要

1. ナビゲーションサービス（2018年4月から提供）

社員・お客様情報などをクラウドで一元管理し連絡先を一つにまとめ、資料やスキルから関連する人に最適な方法でコンタクトの取れるサービスです。

(1) クラウドサービス

初期導入コストを抑え、早期に導入ができます。運用コスト低減に加え、機能拡張もクラウド側で実施されることで、最新の機能を利用することができます。

(2) 多機能

社内の連絡先だけでなく、名刺取り込みによる社外の連絡先も一元管理できます。資料検索による人との紐付けなど、人と人を繋げる機能が充実しています。

(3) 社員資産の融合

各種クラウドサービスとの連携により、目的の人にスピーディで効果的なコンタクト方法で連絡することができます。人と人が繋がることで社員の資産が融合できます。



※AIを活用して社内データから知識やスキルを自動抽出するオプションサービスを2018年6月から提供予定です。

2. チャットボット FAQ サービス（2018年6月から提供予定）

社内スタッフへの問い合わせ対応をチャットボットとAIの組み合わせによって、自動化・効率化できるクラウドサービスです。

(1) 早期導入

既存のFAQがあれば、AIを活用したチャットボットサービスの早期導入が可能です。事前に必要なデータはFAQ一覧のみで、最小限なデータで導入できます。

(2) 運用軽減

利用者との会話ログからAIの自動学習を行うため、導入後に継続的な精度の向上ができます。管理者の負担となるAIの学習を軽減することができます。

(3) 柔軟な他システム連携

お客様社内システムやRPAとの連携など柔軟に他システムとの連携ができます。



3. プロセスアシスタントサービス(仮称、2018年6月から提供予定)

会議の開催プロセスを効率的にアシストし、事前調整や合意形成に基づいて議論や協働作業、意思決定などの本題を活性化します。

(1) 簡単な会議調整

参加メンバーと候補日時などを入力するだけで、参加メンバーや会議室の空き状況を確認して、会議の調整発信ができます。

(2) 不要な会議の削減

会議調整発信の際に資料確認依頼を行い、参加メンバーすべてが資料確認・承認した会議を自動キャンセルできます。これにより必要な会議のみ開催できます。

(3) 会議の一元管理

開催者として開催した会議と参加者として参加する会議を専用のポータルで管理できます。合わせて、会議で利用する資料の確認も行うことができます。

